

支部教研でダイオキシンづくり

2005. 1. 20 小樽分子模型の会 斎藤一郎

ichirokasetu@yahoo.co.jp <http://www17.plala.or.jp/ichirokasetu/>

支部教研でダイオキシンづくり

北教組（北海道教職員組合）後志支部の支部教育研究会の推進委員会で話したときに、今年の参加者がとても少ないことがわかりました。ということはレポートの発表数も少なくなるので、他の推進委員は困っていました。ボクはそこで「昨年見てもらった分子模型のうち、環境に関係のありそうなダイオキシンの分子模型づくりをみんなでしませんか」と提案しました。それは良いということになり、支部教研は午前中がレポート発表で、午後から共同研究者である岩内の原発問題研究会の斎藤さんの話と銀山中の高橋さんの化学物質過敏症の話、そしてボクのダイオキシンづくりになったのです。

ルスツでの分子模型づくり

9月14日・15日にルスツで支部教研が開催されました。ボクは15日の環境部会に参加しました。昨年よりもちょっと参加人数が減ったような気がしました。それもそのはずです。せっかくの支部教研なのに集まった人は岩宇地区（岩内町，共和町，泊村，神恵内村）の人だけだったのです。

午前中のレポート発表が終わり、午後の共同研究者の話も終わってから、8名くらいで分子模型づくりをしました。最初に「初めての分子模型づくり」を読みながら水をつくりました。時間が足りなかったのでエチルアルコールはパスしたような気がします。それから「ダイオキシンの分子模型づくり」を読みながら、ダイオキシンの分子模型をつくってもらいました。